

# 松前消防署からのお知らせ

☎42-2119

## ◆全国の火災の状況◆

平成24年中、全国で44,189件の火災が発生し、前年より5,817件減少しております。火災による死者数は1,721人で前年と比べ45人減少してはいますが、依然多くの人が火災の犠牲となっており、住宅火災による死者のうち65歳以上の高齢者の割合は引き続き高い水準にあります。また、火災の出火原因は「放火」、続いて「たばこ」、「コンロ」の順で上位を占めています。

## ▼煙の恐さを知って おさまじゅう

火災の際、炎が広がる速さよりも、煙が広がる速さの方が圧倒的に早いです。避難する際は濡れたタオルやハンカチ、衣服などで鼻や口を覆い、床に残っている空気を吸うためにできるだけ低い姿勢をとりましょう。煙で視界がきかなくなると

きは、不安感や恐怖心でパニック状態に陥りやすいため、落ち着いて、壁や床に手を当てながら避難しましょう。煙を吸い込んだ場合、一酸化炭素中毒を起し、呼吸困難となり、最悪の場合、命を落とすこともあります。大切な命を落とさないためにも、落ち着いて行動しましょう。



## ▼住宅用火災警報器 取り付けましたか？

住宅火災で亡くなる原因の多くは逃げ遅れで、火災を早く発見していれば助かった可能性があります。住宅用火災警報器は煙や熱を自動的に感知し、音や音声

で就寝中など気付きにくい状況でも、早期に火災の発見が可能になります。火災のときに素早く避難し、大切な生命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう。

なお、取り付け場所は次の図のとおりです。



### ◆寝室

◆階段（2階に寝室がある場合、2階の階段上部または壁に設置）

### ◆廊下（1つの階に寝室でない4畳半以上の部屋が5つ以上ある場合）

設置にあたり不明な点がありませんでしたら松前消防署指導係までご相談ください。

## 「どんな時？」in time?

### ▼のどに物がつまった

毎年、年末年始になると食事中、のどに物をつまらせ命を落とす悲しい事件が数多く報じられています。もし、身のまわりでこのようなことが起きたときには119番通報し、あわてず行動しましょう。

### 【胸を圧迫する】

①傷病者を後ろから抱き抱えるように両腕を回す。

②へそのすぐ上、みぞおちより下の部分を手前上方に向けて圧迫するように押し上げる。



上腹部圧迫法(ハイムリック法)

### 【背中をたたたく方法】

①呼吸ができない場合は頭が胸より低くなるように身体を曲げる。

②背中を中心よりやや上手の平で力強く何度も連続してたたく。

※背中をたたたく方法にはこのほかに身体を横向きに寝かせ、ひざまずき背中の中心よりやや上を手のひらで力強く何度も連続してたたく方法もあります。



背部叩打法

## ◆受けてみませんか◆

平成25年4月より心肺蘇生法の手順が一部変更になりました。心肺蘇生法の講習を受けたことがない方ももちろん、受けたことがある方も、この機会に新しい心肺蘇生法の講習を受けてみませんか？松前消防署ではAED（電気ショック）を取り入れた心肺蘇生法など人形を使った救命講習を、随時受け付けております。職場の同僚やご近所のお友達と一緒に申し込んではいかがでしょう？受講にあたり不明な点がありましたら、松前消防署救急通信係までご相談ください。